

校長室から

ひがしなら通心

(H30年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 16

平成30年6月15日(金)発行

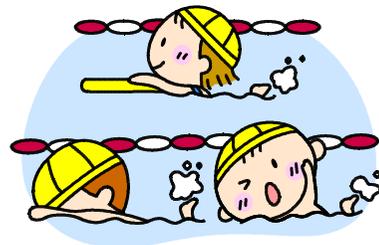
大丈夫、次、がんばろう！

プールでの出来事です。4年生の〇〇さんは息継ぎができません。だからプールに入りたくありません。でも、お母さんに入りなさいと言われ、仕方なく入っています。

先生がおっしゃいました。「息継ぎの練習をしよう」 〇〇さん「えーできません」 先生「大丈夫。少しずつやるから」

顔を上げて、口を開けているのに、どうしても空気が入ってこない。息ができない。それでもブクブクパーと言いながら練習した。一回息が吸えた。先生が手を支えてくれているからできたのだ。何回か息ができるようになり、自分だけでやってみるようになった。

一回目、息ができた。やったあ。二回目、うっ。少ししか空気が入ってこなかった。三回目、思いっきり吸った。すると水が、口に鼻に思いっきり入ってきた。苦しい。思わず、立ってせきこんだ。鼻が痛い。頭も痛い。もうイヤだ。プールサイドに上がったら、涙が出てきた。さあ、ここで、あなたならどう考えますか。



A「もうできない。苦しくてイヤだ。あんなに練習したのに、やっぱり私はダメだ」ですか？ それとも、

B「苦しかったけど、一回はできた。二回目や三回目は、手の上げ方がダメだったのかな。もう一回やってみよう」ですか？

Aのように考えますか？それともBのように考えますか？ 実は、ここに分かれ目があります。

Bのように考えられる人は、自分を大切にできる人です。そして、自分の力をどんどん伸ばせるタイプです。ちょっと難しい言葉ですが、「『自尊心』(じそんかんじょう)が高い」と言います。叱られたり、失敗したりしたことをバネにして伸びるタイプです。苦しいのは一緒。つらいのも一緒です。次にどうするか、です。初めからできる人はいません。失敗しない人もいません。その

失敗を、成功のための失敗、または、成功までの道筋と考えて、「大丈夫、次、がんばろう！」と思える人、それが自分を大切にできる人です。

「大丈夫、次、がんばろう！」で、自分を大切にしましょう。そして、友だちにも「大丈夫、次、がんばろう！」と言えるようになりましょう。

プラスの心を生活習慣に！！

「あいさつ」って本当に素晴らしい。お金をかけず、自分もそして相手も楽しく気持ちよくさせる力をもっている。各ご家庭でも、朝の一番のあいさつが今日もできていますか？「おはよう！」って。

～「おはよう」の三つの意味～

「おはよう」という朝のあいさつは、自分の心を開いて、相手に向き合うためのひと言です。まず自分から心を開くわけですから、勇気が必要です。そして朝のあいさつは、あいさつをする相手に対しては、次の三つの意味を込めた言葉だといえるでしょう。

1. 相手の存在を認める。(あなたは私にとって大切な人)
2. 相手の幸せを祈る。(今日も一日、どうかご無事で)
3. 相手との良好な関係を願う。(今日も一日、よろしく)

これらはいずれもプラスの心です。

朝のあいさつの習慣がなかった人が「おはよう」というあいさつを習慣にすることは、このようなプラスの心を生活習慣にすることでもあるのです。各ご家庭でも、実践していただくとありがたいです。



みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール38 エスカレーターに乗ったら、右側に立とう

エスカレーターに乗ったら、急いでいる人が反対側を歩いて通れるように、片側に立とう。

●右側か左側かは、地域や国によってちがう。エレベーターや電車などに乗るとき、あるいは戸口を入るときには、降りる人、出る人が優先だと覚えておこう。他人の空間を尊重することに気を配るのも、大切なマナーだ。